厳島神社30年祭　直会

稚児舞（ちごまい）

しゃぎりの競演

大土肥しゃぎり保存会　柏谷しゃぎり保存会　仁田しゃぎり育成会

お祭りをいつも盛り上げてくれるしゃぎりですが、今回は、柏谷の他に仁田、大土肥、桑原も参加していただき、いつもとは一味違った楽しい演奏を聞かせてくれました。特に、柏谷、仁田、大土肥の3地区が三つ巴になってのしゃぎりの競り合いは大変迫力があり、しゃぎりの持つ大きな魅力を感じさせてくれました。また、子供しゃぎりでの柏谷と桑原の掛け合いも大変楽しいものでした。

タイムカプセル

30年前の大祭の時に封印をしたタイムカプセルを開封して、埋蔵品をご本人へ返却いたしました。また、30年後の大祭の時に開封する新たなタイムカプセルの封印も同時に行いました。30年後が楽しみです。

都合で出席できない→本人に代わって埋蔵品を受け取る本人のお母さんと娘さん

タイムカプセルに記念の品を入れる子ども達　↓

柏谷、大土肥、仁田によるしゃぎりの競り合い

桑原しゃぎり育成会

柏谷子供しゃぎり

出　店

出店も今回は厳島神社の中祭ということで、おなじみの農業会、子供会、しゃぎり保存会の他に、城山の「カフェ城山」と「登米会（とよまかい）」、厳島神社お隣りの「わかくさ共同作業所」の皆さんにも協力いただいて、飲み物、食べ物、各種物品の販売をしていただきました。

「登米会（とよまかい）」は、宮城県の明治村といわれている宮城県登米出身の後藤さん（城山在住）が代表を務めるボランティアのグループで、老人ホームなどで手話歌や民謡、太鼓をやっています。登米の物産などを中心に各種販売を行ってくれました。

「カフェ城山」は、元城山区長の片岡さんが城山の自宅を改装して営業しています。話し相手の欲しい方は、散歩の途中に寄ってみてはいかがでしょう。

泉明寺宮司の

厳島神社のお話

こんもりと樹の繁った場所が厳島神社、その背後の山が城山（約60年前）

突然ですが、質問です。ご夫婦のみなさま、恋人同士のみなさま。運命の相手との出逢いの場所はどこでしたか？おそらく、昨夜の夕飯のメニューは忘れても、恋の始まりの場所は忘れられないのではないでしょうか。

さて、伊豆ゆかりの有名な歴史上の人物といえば源頼朝。実は頼朝と政子が初めて出逢った、ラブストーリー始まりの地は函南町柏谷の厳島神社であるといわれています。流刑の身であった頼朝は、ある時怪僧にこのように言われます。「あなたが本当に天下を取りたいのならば、良き妻を娶らねばならない。そして、その相手は北条政子である。」と。そこで頼朝は怪僧の助言に従い、厳島神社の境内で政子との出逢いを果たしたというわけです。このような逸話から、厳島神社は恋愛成就、縁結びの神社として人々の崇敬を集めるようになりました。特に女性からは、夜自分の髪の毛を切って願をかければ必ず意中の人と添い遂げることができ、幸福な家庭を営むことができると信じられていました。

柏谷厳島神社の御祭神は田心姫命（たごりひめのみこと）。水を司る神さまで、多くの場合川や海の近くに祀られています。古くは天王峯というところに鎮座していましたが、いつの頃からか、狩野川と柿田川との合流地点、沼沢地「島」に遷座した、と伝えられています。通称「弁天さん」とも呼ばれていますが、こちらは弁財天という七福神の神さまで、もともとはヒンドゥー教の水神サラスバティ。サラサラと流れる水の音を表しているそうです。おおらかな日本人は、田心姫命＝弁財天＝サラスバティと捉えて信仰しました。いずれの女神にも共通するのはその美貌。悪行を尽くす龍を諌め、人々に安寧をもたらしたという、神話も伝えられています。弁天さんは琵琶もお上手。まるで天から注ぐ光のしずくのような音色で奏でられるので、芸事の神様としても讃えられています。このようにビューティフルでパワフルでアーティスティックな女神さまが、柏谷のこの地に祀られているのです。

さて、柏谷厳島神社では、３０年と６０年に一度御開帳が行われます。古い棟札には、「天保３年修繕。１１月盛大な『オ開チョウ』の祭典をなす」とあり、古くからつづく祭典行事であることがわかります。

普段は固く閉ざされた社殿奥の御扉が開けられ、人々が神様に近しく参拝し、大いなる御神徳をいただく日。平成３０年は３月１１日（日）。３０年も月日が経つと、当時小学校１年生だった児童もすでに不惑の年に近づく頃になるのですから、長い時間が空く伝統行事です。だからこそ今年の御祭を心と記録に収め、３０年の後にはまた厳かに賑やかに大祭をご奉仕することができるよう私たちは努めなければなりません。長らく続くこの素晴らしき伝統を、次の世代に伝え、受け渡してゆくことがとても大切なことなのです。

〔日枝神社宮司　泉明寺みずほ〕

農業会は、今回もポン菓子の大きな音で、会場中を驚かせていました。

子供会は、稚児舞、しゃぎり、出店と大忙しでした。お疲れさまでした。

しゃぎり保存会は、出店でも大活躍です。

「わかくさ作業所」は、品揃えが豊富です。のぞいてみれば、欲しいものがきっとあるはずです。

出店ではありませんが、お守りの授与所も設けられました。厳島神社にあやかり、良縁を願ってお守りをいただく方も多くありました。良い御縁に恵まれますように…

佐藤区長に聞く！

一年間、お疲れさまでした

平成29年度もほぼ終わり、任期あとわずかとなった佐藤区長に、インタビューをしてみました。

Q 一年間お疲れさまでした。今の率直な感想は？

A 感想は二つあります。一つは、毎日が充実していたということです。そしてもう一つは、普段では出会えない人達と出会うことができたということです。

Q 今年度の柏谷区を一言で表すとしたら？

A 「再発見の柏谷区」です。柏谷のことは何でも知っているつもりでしたが、色々なことを経験する中で多くの再発見がありました。

Q 印象に残ったことは何ですか？

A 台風の大雨の中の敬老会です。シニアの方々は元気ですよ！

Q 雨といえば、秋の例大祭も雨でしたね？

A 雨でしたっけ？悪いことはすぐ忘れてしまう性格なんで…。

Q 区長をやって良かったことは？

A 良い仲間に巡り合えたことです。

Q 区民の皆さんに期待することは？

A 私と同じように、柏谷を再発見してほしいですね！

Q 奥さんに一言！

A 様々な面で裏方に徹してくれまして…。まさに3人目の副区長でした。

Q もう一度区長を頼まれたら？

A 真っ先に家族会議を開きます。多分、全会一致で否決されるでしょう。でも、今だから言えますが、区長をやって楽しかったし良かったです。

厳島神社30年祭で餅まきをする佐藤区長